

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：山本・奈良井]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

平成31年度 病害虫発生予察情報 技術情報第2号

平成31年4月2日

島根県病害虫防除所

イチゴにおけるハダニ類の発生状況について

平成31年3月20日の巡回調査では、イチゴに寄生するハダニ類の発生ほ場割合が平年よりも高く、また発生程度の高いほ場も認められました。現地では発生状況の把握に努めるとともに、薬剤散布など防除対策の徹底をお願いします。

1. 現在の発生状況

- 1) 平成31年3月20日の巡回調査において、ハダニ類（主にナミハダニ、図1）の発生ほ場率は88.9%（平年63.7%）、寄生株率は60.0%（平年26.1%、図2）、寄生小葉率37.1%（平年21.7%）と平年に比べて発生量がやや多い。
- 2) 中国地方1か月予報（広島地方気象台3月28日発表）によると、4月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。



図1 ハダニ類の被害(左)と寄生したナミハダニ(右)

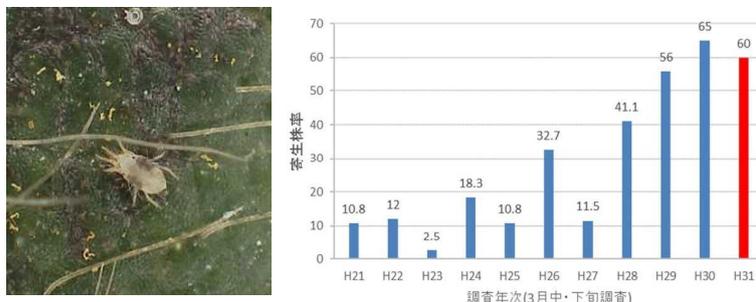


図2 過去10年間のハダニ類の寄生株率

2. 防除対策および防除上の注意事項

- 1) ハダニ類は葉裏に多く寄生しているため、薬剤散布を行う場合は、葉裏に薬剤が付着するよう丁寧に散布する。また、繁茂している場合は薬剤が葉裏にかかりやすくなるため事前に葉かきを行う。
- 2) ハダニ類が寄生した株で葉かきを行ったときは葉を速やかに施設外に持ち出し、適切に処分する。
- 3) 薬剤の使用に当たっては、農薬ラベルに記載の使用方法・注意事項を遵守する。
- 4) 薬剤の選定や薬剤散布の際には、ミツバチに対しての影響を十分に考慮する。
- 5) 天敵製剤を使用しているほ場では、天敵に影響の少ない薬剤を選択する。
- 6) ハダニ類は薬剤感受性が低下しやすいので、薬剤の効果を確認し、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。